

第108回日商1級総評  
(商業簿記・会計学)

		出題論点	ネットスクール出題予想
商業簿記		貸借対照表の作成 (税効果あり)	第1予想税効果会計を含めて 大当たり
会計学	第1問	理論(正誤)	的中
	第2問	長期請負工事	不的中
	第3問	理論(為替換算調整勘定)	不的中(商業簿記・第2予想で 扱っているが)

(工業簿記・原価計算)

		出題論点	ネットスクール出題予想
工業簿記		標準原価計算	第1予想 的中
原価計算		活動基準原価計算	第3予想 的中

予想合格率 9 %

商業簿記  
〔問1〕

貸借対照表  
平成16年9月30日現在 (単位：千円)

資 産	金 額	負債・資本	金 額
現金預金	( 135,256 )	支払手形	( 41,000 )
受取手形	( 38,318 )	買掛金	( 50,700 )
売掛金	( 72,324 )	保証債務	( 910 )
有価証券	( 7,200 )	未払費用	( 320 )
商 品	( 32,400 )	未払法人税等	( 25,980 )
前払費用	( 400 )	リース債務	( 368 )
(繰延税金資産)	( 1,452 )	(長期リース債務)	( 1,291 )
未収収益	( 18 )	社 債	( 3,000 )
建 物	( 53,480 )	資 本 金	( 200,000 )
備 品	( 4,975 )	資本準備金	( 10,000 )
土 地	( 140,000 )	利益準備金	( 25,600 )
投資有価証券	( 13,320 )	別途積立金	( 60,000 )
長期貸付金	( 3,744 )	未処分利益	( 83,751 )
更生債権	( 300 )	(その他有価証券評価差額金)	( 312 )
社債発行差金	( 45 )		
	( 503,232 )		( 503,232 )

- 注1 手形割引高( 91,000 千円)  
 2 貸倒引当金( 3,114 千円)  
 3 減価償却累計額( 34,745 千円)

〔問2〕

損益計算書

平成15年10月1日～平成16年9月30日 (単位：千円)

税引前当期純利益		120,801
法人税等	( 49,980 )	
法人税等調整額	( 1,660 )	( 48,320 )
当期純利益		( 72,481 )
前期繰越利益		( 11,270 )
当期未処分利益		( 83,751 )

リース債務 1,659千円(長期リース債務なし)でも可。

予想配点：

1 つにつき 1 点、合計25点

会計学

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ
×	×			

第2問

(単位：百万円)

工事完成基準	平成14年度	平成15年度
工事利益	1,804	0
工事未収金	200	0
前受金	4,500	10,000

(単位：百万円)

工事進行基準	平成14年度	平成15年度
工事利益	2,656	849
工事未収金	500	500
前受金	0	1,560

第3問

ア 定義… 為替換算調整勘定とは、在外子会社の貸借対照表項目を換算する際に生じた差額を表す項目をいう。

イ(A) 財務諸表名… 連結貸借対照表

(B) 表示区分… 資本の部

ウ 理由… 金融商品に係る会計基準におけるその他有価証券の処理との調整と国際的な会計基準との調和と財務諸表の比較可能性の確保の観点から資本の部に表示される。

予想配点：

- 1つにつき1点、
- 1つにつき2点、合計25点

工業簿記

問 1

仕 掛 品		( 単 位 : 円 )	
月初仕掛品原価 ( 145,500 )	完成品製造原価 ( 8,094,000 )		
当月実際製造費用	異常仕損費 ( 426,000 )		
主材料費 ( 3,048,000 )	月末仕掛品原価 ( 145,500 )		
変動加工費 ( 3,000,000 )	標準原価総差異 ( 1,528,000 )		
固定加工費 ( 4,000,000 )			
( 10,193,500 )	( 10,193,500 )		

問 2

主材料費総差異	加工費総差異
48,000 円( 借 )	1,480,000 円( 借 )

借方差異には借、貸方差異には貸と ( ) 内に記入しなさい。

問 3

予算差異	能率差異	操業度差異
200,000 円( 借 )	280,000 円( 借 )	1,000,000 円( 借 )

借方差異には借、貸方差異には貸と ( ) 内に記入しなさい。

問 4

予算差異	能率差異
200,000 円( 借 )	160,000 円( 借 )
ロットサイズ変更差異	操業度差異
120,000 円( 借 )	1,000,000 円( 借 )

借方差異には借、貸方差異には貸と ( ) 内に記入しなさい。

予想配点 :  1 つにつき 3 点、  
 1 つにつき 2 点、  
 1 つにつき 1 点、合計25点

【 追記 】

原価標準の計算において、段取費用は「変動加工費」として扱っています。  
 問 4 において、ロットサイズ変更差異を変動費のみから計算していることから判断しました。これによると 1 単位あたり原価標準は @8,520円となります。

## 原価計算

### 問 1

(1)		4,000	円
(2)		2,250	回
(3)		375,000	時間
(4)		1,200	台
(5)		20	回

### 問 2

製品 P の製造単価		28,000	円
製品 P の販売単価		39,200	円

### 問 3

		3	%
--	--	---	---

### 問 4

		47,487	円
--	--	--------	---

### 問 5

		39,325	円
--	--	--------	---

予想配点：  1 つにつき 3 点、  
 1 つにつき 2 点、